

■第3回板橋区緑の基本計画改定委員会での指摘事項とその回答

		委員からの指摘事項	板橋区の回答
骨子（案）について	将来像	◆ 板橋区のウェルビーイングを定義する際には、全年代が理解できる端的な説明があると良い。	庁内調整後お示しさせていただきます。
		◆ 資料3の2のイラストにある人のイメージについて、4 人家族以外の人々を排除するように捉えられてしまうことから、それ以外の様々な人も含まれるようイメージを変えた方が良い。	“ひと”と“みどり”が関わり合い、共生することで、将来像が実現する概念が読み取れるイラストに変更いたします。
		◆ 資料3の2のイラストについて、みどりを育むと暮らしが豊かになることが分かりにくいいため、変更を検討してほしい。	
		◆ 資料3の2のイラストについて、みどりを葉一枚ではなく、樹林で表現してほしい。共生やウェルビーイングの意味を捉え、ひととみどりがどうすればウェルビーイングになるのか工夫して表現してほしい。	
		◆ 資料3の2のイラストにある人のイメージについて、お年寄りや車いすの人を掲載したり、もしくは増えすぎるのであれば人単体で表現したりするなど検討してほしい。	
		◆ 資料3の2のイラストについて、多様な人々がみどりを介在して結びつきあうイメージが伝わるようにしてほしい。	
		◆ 資料3の2の「“ひと”と“みどり”の共生でウェルビーイングが叶うまち“板橋”」について、叶うと言い切るのではなく、目指すとした方が良い。	「叶う」としている表現については、区が主体となって行う取組をはじめ、地元と一体となって行う協働を通して、今後“みどり”との共生による豊かな社会をみんなで叶えるという意味を込めております。このことから「叶う」とさせていただきたいと考えております。
	社会状況の変化	◆ 資料3の4のうち、「みどりに関わる社会状況の変化」の6項目に使用されているカタカナ表記をわかりやすい言葉に換えた方が良い。	カタカナ表記については、誤解を招かないように注意しつつ、記載方法について検討させていただきます。
		◆ 「ウェルビーイング」は、こころとからだの健康に加え、暮らしの充実といった意味も取り入れた方が良い。「アクティビティ」は「居心地が良く歩きたくなる活動」などに、「ネイチャーポジティブ」は、「自然環境を守りながらさらに豊かにしていこうという取組み」などに、「ゼロカーボン」は、「二酸化炭素を出さない社会」などに、「ヒートアイランド」は、「都市の暑さがますます強くなる」などに言い換えることができるのではないかな。	
		◆ ウェルビーイングの定義にあたって、ウェルビーイングを日本語に訳して得た言葉を突き詰める作業が欠けている。	庁内調整後お示しさせていただきます。
	計画改定のポイント	◆ 板橋区内の都市計画道路において、資料4の23ページのテーマⅡに掲載されている写真のような植樹帯を設ける計画はあるのか。	都市計画道路の幅員は狭いため、写真のようなサイズの大きい樹木を伴う植樹帯を設けることは難しい状況です。（当日、事務局回答）
		◆ 住民が避難時や、日常的な公園利用の際に通行する道路の計画にあたっては、樹冠率の高い日陰が確保されているかなど、公園に至る経路の道路状況を十分検討してほしい。	街路樹は成長しすぎると、歩道上で根上がりを起こし、歩行者の転倒を招く恐れがあることや、案内標識や規制標識を隠すことによって、車両の安全・円滑な走行を妨げる可能性があることから、板橋区の道路事情に鑑みて、樹冠を大きく広げることは難しい状況です。
		◆ 資料4の23ページのテーマⅡに掲載されている写真について、ポイントのみどりがつながり、歩行者にとって快適な空間が形成されていることがわかる写真に差し替えてほしい。	写真で表現可能な内容か、検討させていただきます。
		◆ 資料3の6「みどりを“増やす”から“活かす”へ」について、板橋区としてみどりを増やすことをやめたのか。	みどりの減少が続く中で、今後もみどりを増やす努力はしつつ、主にみどりを活かす取組を通して、みどりを増すことにつなげていきたい。（当日、事務局回答）
		◆ 資料3の6「みどりを“増やす”から“活かす”へ」について、例えば公園を増やさなくとも、たくさんの人に使われていればよいという意味に捉えられてしまうため、修正した方が良い。	「活かす」ことについて、誤解を招かないような表現とするために説明文を加える等検討します。
	基本方針	◆ 計画のテーマの変更理由を教えてください。「持続可能」という言葉は、近年トレンドになっているリジネラティブの意味を完全には含まないものであり、2035年に向けた言葉として適切かどうか疑問である。	SDGsの目標年次が2030年であり、その情勢等も踏まえて言葉遣いを検討したい。（当日、事務局回答）

		委員からの指摘事項	板橋区の回答
		◆ 計画の3つの基本方針すべてに区民との協働に関する内容を入れてほしい。	計画全体に共通する事項と捉えて、基本方針のテーマとして記載を検討します。
		◆ 基本方針を「つなぐ」から「つなげる」に換えたのはなぜか。	現計画で掲げられていた施策の多くが未達成であるため、次期計画に向けた強い決意の意味を込めて「つなげる」へと変更した。言葉遣いについて、よりわかりやすい表現となるように写真やイラストを用いるなども含めて検討させていただきます。（当日、事務局回答）
		◆ 基本方針のみどりの役割の言葉が何を伝えようとしているのかわからない。	言葉だけでは捉えきれないところについては、別の手法を用いてわかりやすい表現を検討させていただきます。（当日、事務局回答）
	その他	◆ 一般的な知名度が低いカタカナによる記載を行う際はその説明があると良い。	カタカナ記載については、カッコ書きにより日本語を記載するなど分かり易い表現となるように検討いたします。
		◆ 公園は幼稚園児だけではなく、施設に入所する高齢者の園外アクティビティにも利用できるということをイメージとしてもってほしい。	公園の施策・事業検討の参考とさせていただきます。
		◆ 本来の意味のウェルビーイングが叶う計画であることがわかるようにしてほしい。	みどりの維持・保全や創出に加え、みどりの活用や協働の取り組みを通して区民が身体的、精神的、社会的に幸せに暮らせるよう、事業を検討いたします。
		◆ みどりを多角的に評価するために、緑被率だけではなく、樹冠被覆率を指標として用いることが必要ではないか。	現在の資料に樹冠被覆率を加えることについては、引き続き検討させていただきます。
		◆ 将来のビジョンを示すイラストをつくることが非常に重要である。	現計画の90～91ページのイラストをベースとして、どのような表し方ができるのか検討させていただきます。（当日、事務局回答）
施策体系（案）について	施策	◆ 農業従事者の高齢化により、農のみどりがなくなる可能性を視野に入れた施策がないといけな い。農地の買い入れや借り入れなどの対策を検討してほしい。	農業の後継者が0にならないよう、農地所有者による営農が困難となった生産緑地を区民農園として活用する取組みや、認定農業者制度を通じた経営的な農業に取組む人への補助金の交付を行うなど対策を講じております。（当日、事務局回答）
		◆ 「回廊」という言葉が何を指して理想としているかがわかりにくい。	拠点と公園を結ぶ既存のみどりと緑道の質の向上により、区民がみどりに親しめる環境にしてい くイメージを指しており、「回廊」という言葉遣いについて分かり易い表現となるよう引き続き検討さ せていただきます。また、新たな創出も検討させていただきます。（当日、事務局回答）
		◆ 資料2「みどりの回廊の創出」は具体的に何をする施策であるかの内容が書かれていない。ガ イドラインのような形で緑の施策として何を目指してやるのかを示すべきである。これを突き 詰めることで維持管理の新しい方針が見えてくると思うので、検討してほしい。	具体的な事業の検討の参考とさせていただきます。
		◆ イベントの簡素化や規制の強化などにより、子どもがみどりに触れる機会が減っているため、 身近にみどりを感じることができる場所が増えてほしい。	「基本方針Ⅲ ひとがつながる」の目標である「みどりと関わるライフスタイルの創出と醸成」「み どりをみんなで使いこなす」における具体的な事業の検討の参考とさせていただきます。
		◆ みどりを増やすことを目標としつつも、みどりを減らさない取組みから始めてもよいのではな いか。	今後、お示しする「緑被率」の目標設定と合わせて、みどりの「保全」と「創出」の観点から事業を 検討して参ります。
		◆ 板橋市場などと提携したマルシェが定期的で開催されれば、公園の利用が進むのではないか。	「基本方針Ⅲ ひとがつながる」の目標である「みどりをみんなで使いこなす」における具体的な事 業の検討の参考とさせていただきます。
		◆ 資料2の8ページについて、次期計画にニリンソウがつくる空間や自然について記載してほし い。	「基本方針Ⅰ みらいへつなげる」の目標である「生物多様性の向上による生態系の保全と再生」の 施策検討・事業検討の参考とさせていただきます。
		◆ 資料2の11ページについて、街路樹の質の向上を、みどりの回廊の創出の一部として掲載する としている。街路樹に限らず樹木の質の向上とし、施策に追加してほしい。樹木の質の向上を 重点的に行う樹木を選定することで、みどりの回廊が創出されるのではないか。	民有樹林の質の向上に対しては、保存樹林・竹林制度や保存樹木制度など既存の制度について、「基 本方針Ⅱ みらいへつなげる」に記載をさせていただきます。また、回廊に関する区有の街路樹に加 え、緑道をはじめとした樹木の質の向上については、樹木医による樹木診断と、危険木への対応など 「基本方針Ⅱ まちをつなげる」に記載をさせていただく予定です。
		◆ 基本方針Ⅱの施策は行政と区民が共に、まちにひとと生き物の回廊をつくるイメージがあると よい。	「回廊」については、言葉の使い方の検討とともに、「区民と共につくる」ことの分かり易い表現に 向け、検討させていただきます。

		委員からの指摘事項	板橋区の回答
		◆ 基本方針Ⅲの施策は、活動する人をどう確保するのかについて強い意志を持ってほしい。	協働の4ステップである「知る（興味を持つ）」、「学ぶ（知識・技術を得る）」、「行う（実践する）」、「伝える（仲間を増やす）」を循環させることにより、協働への継続的な参加の実現をめざしたいと考えております。
		◆ 水辺との連携による協働パートナーシップの観点を入れてほしい。	水辺に関する事業以外も含め、協働（パートナーシップ）の視点を検討させていただきます。
		◆ みどりに対する区民の意識を向けるために、みどりに関する大きなイベントを開催することも一つの方法ではないか。	現状、グリーンフェスタや農業まつりをはじめとしたみどりと親しみ、みどりへの意識を向上させるイベントを開催しておりますが、このほかのイベントについては、「基本方針Ⅲ ひとがつながる」の目標である「みどりと関わるライフスタイルの創出と醸成」「みどりをみんなで使いこなす」における具体的な事業において掲載を検討させていただきます。
全般		◆ イベントにただ参加してもらうだけではなく、板橋区が協働を呼びかけるといったイメージがあってもよい。	HP や SNS を活用した広報の実施のほか、SDGS プラットフォームの活用など具体的な事業の検討の参考とさせていただきます。
		◆ 誰が見てもわかる記載にする必要があるのではないか。	より分かり易い表現となるように記載方法について検討して参ります。
		◆ 板橋区に住みたいと感じさせるよう、板橋区の歴史や文化などをとりいれた計画にしてほしい。	素案作成の参考とさせていただきます。
その他		◆ 第2回改定委員会の指摘事項に基づき、修正予定箇所がわかる検討資料を提示してほしい。	計画書（素案）をお示しするなかで、今後、ご意見の反映予定か所がある場合には、「〇〇記載予定」などの記載を検討させていただきます。